

2019年度 個人研究実績・成果報告書

2020年 5月 7日

所属・職名	政策情報学部・教授	氏名	榎 順
研究課題	PCおよびITCメディアにおける新たな表現の可能性の探求		
研究キーワード	メディア、映像、CG、デジタル、音響、舞台、芸術、表現	当年度計画に対する達成度	2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>当初予定していた備品よりも必要な機材が市場に出てきたので違う機材購入になったが、そのおかげで目的にかなり近づいた活動が可能になった。</p> <p>成果的には多くの低コストでありながらクオリティとしては海外からも注目された動画、プロジェクションマッピングなど制作可能な領域が増え学外のアピールも多大なものになった。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>プロジェクションマッピング「うつろい」弘法寺祖師堂 https://youtu.be/MYFQqJXg-UQ</p> <p>新鎌ヶ谷市総合福祉保健センター https://youtu.be/btEiezrxzd4</p> <p>「ド根性栽培飲むブルーベリー果実酢」広報映像に応用 https://youtu.be/05deC4vyDP4</p> <p>Cross Transit project 『梁塵の歌』コンテンポラリーダンスステージ映像に応用 https://youtu.be/rH8mcP_fQFI</p> <p>「地域活性化に対するアートの役割について」、赤松直樹・権永詞・榎順・吉羽一之、2020年3月、国府台経済研究第30巻第2号、千葉商科大学経済研究所、第2章「新たな地域イベントの広報映像の制作」「第3章プロジェクトにおける活動事例について」</p> <p>3. 主な経費</p> <p>主な経費は映像撮影のためのサポート機材を中心にクオリティとして完璧な映像を記録し、同時に柔軟なカメラワークを可能にすることができるよう配慮した経費仕様ができるようになった。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <p>4K映像で完璧な色情報を記録し編集できる環境が整いだした。映画制作と同等のクオリティで動画とCG、VR制作が低コストで近いうちに可能になる。</p> <p style="text-align: right;">(本文は1ページ以内にまとめること)</p>			